



ひゃくいんむげん 百輪無限

泊小だより 3号

令和7年6月26日発行

文責：教頭

一生懸命は「カッコいい」～全校集会のお話から～

校長 ニツ森 孝史



先日、マラソン記録会、陸上記録会がありました。児童の皆さん、よく頑張りました。

一生懸命頑張る姿って、「カッコいい」ですね。私は、そう思います。反対に、集中できなく、隠れてコソコソ怪しいことをしている人、悪口やあることないことを言いふらす人ってどうですか？カッコ悪いですね。私は、そう思います。

今できることを、一生懸命取り組む。これって、言葉を変換させると、普段を、毎日を大切にすることだと思います。勉強もそうです。毎日の頑張りがテストに現れます。

普段を大切にすることで、毎日の生活が楽しくなることに繋がります。1日24時間、8万6千400秒。毎日一生懸命生きることの大切さがわかると、皆さんがもっと素敵になって輝くんだと、お話しする先生もいます。

まずは、何にでも一生懸命やってみませんか？「カッコいい」泊っ子の皆さんであってほしいと思います。

今月、中学校では、上北地方中学校体育大会（いわゆる「中体連」）夏季大会が開催されました。勝って喜ぶ生徒、負けてグチャグチャに泣く生徒。私は、どちらも「カッコいい」と思いました。

とても恥ずかしい話ですが、若い頃、私は一生懸命やってもできなかった時のために、自分を守る「防波堤」や「城壁」をつくっていた時期がありました。本気を出していない状況が「カッコいい」とさえ思っていたかもしれません。テストがあれば、「勉強してないから」、試合に負ければ、「本気じゃなかったから」…。これって、言い訳ばかりですね。カッコ悪いですね。

当然、今は、「あの時にもっと頑張っておけば良かった」後悔ばかり。このような経験の持ち主の方は、私以外にもいるのではないのでしょうか。

もし、あの時、全力を出してダメだったのであれば、「これだけやったのだから…」と納得できたかもしれません。

子供たちは、当たり前ですが、お父さん、お母さんのことが大好きです。それは、仕事に、家事に一生懸命な親の姿を見ているからです。常に「カッコよさ」があふれているからです。大人になってからも一生懸命やることはとても大切だと思います。

これからも、我々大人たちが子供たちに「カッコいい」姿を見せ続けていきませんか。

マラソン記録会《6月13日(金)》

ぐんぐんタイムのマラソンで取り組んできた成果を発揮すべく、澄んだ青空の下、ゴールを目指して号砲と共に勢よく飛び出した子供達。「入賞を目指す」「自己ベストを目指す」「完走を目指す」・・・それぞれ目標は違いますが、ゴールに向かって必死に走る姿は力強く輝いていました。友達への応援も一生懸命でした。

秋にも記録会があります。自己ベストを更新できるように、継続的に走らせていきます。

応援に足を運んでいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。秋の記録会も大きな声援をお願いします。



《各学年1位紹介》

		1年女子	赤石 爽璃
2年男子	能登 信太朗	2年女子	赤石 柚璃
3年男子	赤石 夢翔	3年女子	橋本 虹色
4年男子	新谷 奏太	4年女子	水戸ひより
5年男子	高梨 翔	5年女子	福岡 愛珠
6年男子	浜飯 敬心	6年女子	中村 優月



陸上記録会 《6月25日(水)》

心地よい風、澄み渡った青空。好条件の下、村内4校で競い合った陸上記録会。2週間前から4年生から6年生は、合同体育で練習を重ねてきました。中には、昼休みの時間を利用して練習する熱心な児童も見られました。自分の目標に向かって本気になれる子どもたちは素敵です。当日は競技のみならず、応援席での態度、競技場内に響き渡るような大声援も立派でした。

どの子も頑張りましたが、1位の子を紹介します。

4年男子	走り幅跳び	1位	加藤 琥歩
5年女子	100m	1位	福岡 愛珠
6年女子	ジャベリック	1位	目代 心優
	100m	1位	祐川 依夢
6年男子	1000m	1位	浜飯 敬心
リレー女子	1位	1走；	福岡 愛珠
		2走；	祐川 依夢
		3走；	水戸 ひより
		4走；	中村 優月



学校評価アンケートありがとうございました

お忙しい中、学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。たくさんの保護者の方々からいただいた評価を真摯に受け止め、夏休み中に反省・改善を行ったうえで、2学期の学校運営に反映させていただきます。何かお気づきの点がございましたら、いつでも学校へご連絡をいただければ幸いです。